

JMSグループ

中期経営計画（2020.04～2023.03）

《GAIN-RG 2023》

Globalization, Acceleration and Innovation
for the New generation, to Realize Growth

グローバルに、スピード感をもって、イノベーションを推進し、
新たな時代を切り拓いて、成長を実現

前中計の振り返り（取り組みと成果）



-顧客起点での戦略展開

がん領域の拡大 …規格拡充した「ネオシールド」による着実なシェア拡大
栄養領域の維持・拡大…差別化されたISO対応製品の上市完了、施設での切替進行中

-次世代事業の創出

癒着防止材（整形） …治験を実施、ハイリスク症例に対する効果を継続して検討中
生分解性材料の技術展開…消化管内分解ステント等のデバイス開発進行中

-グローバル展開の加速

中国CDDS事業の展開 …北京、上海等の基幹施設で採用拡大、日本式透析システムが徐々に浸透中
タイ合弁会社の営業開始…タイ国内外へ透析関連の販売開始、輸液領域への拡大を準備中

-最適生産の推進

フィリピン新工場 …操業拡大を進め単年度黒字化を達成、更なる業容拡大へ
国内生産拠点の再編…老朽化した大野工場の生産終了、出雲工場では生産設備増強

-コトづくりの強化

投資ファンドへ参画…新たな価値提供を目指したスタートアップ企業への投資
医工連携の推進 …ソフトウェアを活用した不整脈解析システムの共同開発

◆前中期経営計画《GAIN 2020》の総括

「顧客起点での事業展開」と「全社的な生産性向上」を基本方針として、国内では機構改革を行ったビジネスユニット（以下、BU）を軸に顧客起点での事業戦略を推進し、海外では中国・ASEANを中心にグローバル展開を進めました。その結果、掲げた業績目標には届かなかったものの、収益性の着実な改善など一定の成果を残せた半面、成長スピードと安定収益に課題を残しました。

◆環境認識

国内では増大する医療費を背景にその抑制策が継続する一方で、医療技術の進歩を支え高齢社会の課題を解決する医療機器が望まれています。海外では、経済発展とともに医療ニーズが高まる新興国において医療機器に関する事業機会が拡大しているほか、先進国での高齢化の進展や慢性疾患の増加も加わり、引き続きグローバル市場での需要拡大が見込まれます。

前中期経営計画から進行中の取り組みを確実に引き継ぎながら、そこで認識された課題や環境変化を踏まえ、新たな施策を織り込んだ中期経営計画を策定しました。

長期ビジョンと基本方針 《GAIN-RG 2023》



長期ビジョン（2030年）

未来の医療を先取りした新たな価値の創造を実現し、世界の人々の健康とQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の一層の向上を支える企業になる。

長期ビジョンの実現を目指して基本方針と中期的な取り組みを以下のとおり定めました。

基本方針

(1) 顧客起点の深化

医療現場と密接した顧客起点の事業運営を深化させ、顧客も自覚していない潜在ニーズを突き止め、共に課題解決することで、新たな成長を実現

(2) 収益向上への変革

グループ経営を支える人材、組織、制度、体制など、あらゆる観点から役割の見直しと強化を図り、安定的かつ持続的に収益が得られる企業体質への変革を推進

定量目標

2023年3月期の最終期で、売上高640億円（年平均成長率3%）、営業利益26億円（年平均成長率4%）を目標とします。

(1) 事業ポートフォリオの最適化

各事業の有機的な結びつきと、経営資源の有効活用を目指した最適な組み合わせを図り、事業戦略の徹底実践により競争力を高め、事業収益を拡大する。

- HP-BU … 輸液・栄養領域の拡大、がん領域の成長加速、摂食嚥下領域の市場開拓
- S&T-BU … 収益構造の継続的改革、基盤製品の強化、現有資源を活性化させた事業展開
- BCT-BU … 日赤白除バッグのシェア拡大、細胞・再生事業の基盤確立
- 各BU共通 … グループ資産を活かしたOEM・ODMビジネスの開拓と拡大
… 成長性と収益性のある分野への資源再配置、不採算品目整理

※HP:ホスピタルプロダクツ、S&T:サージカル&セラピー、BCT:ブラッドマネジメント&セルセラピー

(2) グローバル体制の強化

グローバルマーケティング本部のリーダーシップのもと、海外各社と各BUとの連携により事業展開を推進し、海外における事業領域と売上を拡大するとともに、世界に通じるブランドを構築する。

- ・中国CDDS事業：提携企業との現地に根差した事業体制の構築、JMSブランドの浸透
- ・フィリピン生産拠点の更なる競争力強化とこれを活用したグローバル市場での業績拡大
- ・タイ市場での販売製品群の拡充と近隣ASEAN諸国への販売展開
- ・インドネシア、フィリピンに生産拠点を持つメリットを活かした地域市場での販売展開
- ・成長する中国市場へCDDS事業に続くコア事業を展開

(3) 次世代事業の創出

医療の安全と効率化、患者さんのQOL向上に貢献する製品の開発により基盤事業の成長を支えるとともに、投資ファンド参画によるスタートアップ企業への投資等を通じ、世界の革新的な製品、技術に関する積極的な情報収集とその活用を図り、将来を担う事業の創出に挑戦する。

- ・ 生分解性材料の技術展開：癒着防止材（整形外科）、消化管ステントへの応用
- ・ 新製品の継続的探索（オープンイノベーション推進、投資ファンド活用、M&A）
- ・ I o T、A I など先進技術を活用した新価値の実現

(4) グループ経営基盤の強化

国内事業の持続的成長とグローバルな事業展開を加速させつつ、環境変化に対応し安定的かつ継続的に収益が得られる企業体質へ変革するため、あらゆる観点から常に事業路線や座標軸の点検を行い、グループ経営を支える人材、組織、制度、体制など、環境や戦略に適応した経営基盤の見直しとその強化を図る。

- ・ グループ生産体制の再編による最適生産の推進
- ・ グローバル市場での薬事許認可の迅速な取得と法規制対応の体制構築
- ・ 雇用環境の変化を踏まえた人事制度見直し、グローバル人材の確保と育成制度の確立

(5) 持続可能な社会の実現

医療を通じて社会へ貢献する当社の事業に誇りとやりがいを持ち、「働き方改革」をはじめとする理想の組織・体制作りを進めつつ、ガバナンスの向上や事業を通じた環境負荷の低減を目指すことで、SDGs（持続可能な開発目標）達成へ寄与するとともに持続的な企業価値向上を実現する。

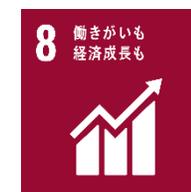
◆事業活動を通じた医療への貢献

- ・ 医療の安全と効率化、患者さんのQOL向上に貢献する製品の開発
- ・ イノベーションの推進による、医療現場の課題解決に真に役立つ価値の創造
- ・ 新感染症等の発生時における製品供給の継続と感染対策に資する製品開発



◆企業活動を通じた貢献

- ・ 健康経営への取り組みの充実とワークライフバランスの促進
- ・ 多様な人材と柔軟な組織によるダイバーシティ経営の推進



- ・ 環境汚染予防、廃棄・ごみ削減に配慮した事業活動プロセスの推進
- ・ 省エネの推進によるエネルギー使用効率改善



以上

The logo consists of the letters 'JMS' in a bold, blue, sans-serif font. Each letter has three horizontal white lines running through its center. The logo is set against a background of large, overlapping, semi-transparent white shapes with a blue diagonal hatching pattern. The overall background is a light blue gradient with soft, out-of-focus light spots.

JMS

人と医療のあいだに…